

株式会社 菊水ロマン館

平成25年度 営業報告

平成25年度の営業収入は、全事業で196,305,555円、収入構成は、物産78.1%(153,232,935円)、温泉6.9%(13,599,148円)、実演11.0%(21,639,965円)、カヌーその他4.0%(7,833,507円)となりました。

この営業収入は、前年比94.8%(▲10,715,920円)、前々年比88.0%(▲26,851,796円)の大幅減少となっており、売上をいかに伸ばしていくかが喫緊の課題です。

一方、コスト面では、収入減に対応して、人件費、リース費、維持管理費等の抑制(対前年▲2,313,556円)に努めましたが、水道光熱費の高騰(対前年+2,678,804円)に対処することができませんでした。

その結果、3,991,978円の赤字となりました。

貸借対照表 平成26年3月31日現在

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】	43,095,216	【流動負債】	16,457,429
現金	1,095,136	買掛金	1,205,243
預金	37,349,514	未払金	12,306,123
売掛金	1,107,601	未払法人税等	182,500
商品	612,939	預り金	214,263
貯蔵品	1,012,590	未払消費税	942,600
仮払金	29,900	商品券	23,000
未収入金	1,887,536	1年返済リース債務	1,583,700
【固定資産】	10,865,841	【固定負債】	3,365,925
(有形固定資産)	10,821,631	長期預り保証金	2,726,000
建物	7,452,905	リース債務	639,925
建物付属設備	477,293	負債合計	19,823,354
車両運搬具	4		
工具器具備品	93,588		
リース資産	2,797,841		
(投資その他の資産)	44,210		
差入保証金			
リサイクル預託金	44,210		
【繰延資産】	0		
フランチャイズ加入金			
下水道負担金			
資産合計	53,961,057		

損益計算書

科目	金額
物産売上高	153,232,935
実演売上高	21,639,965
温泉売上高	13,599,148
カヌーその他売上	7,833,507
【売上計】	196,305,555
売上原価	123,780,347
【売上総利益】	72,525,208
役員報酬	1,450,000
給与手当	32,549,160
雑給	2,029,234
賞与	1,745,000
法定福利費	3,502,579
厚生福利費	261,931
【固定費計】	41,537,904
交通費	27,088
通信費	380,057
交際費	282,953
減価償却費	2,888,998
賃借料	327,860
保険料	899,930
修繕費	935,981
水道光熱費	21,476,780
燃料費	731,391
消耗品費	4,664,334
租税公課	240,867
運賃	912,265
維持管理費	2,513,205
繰延資産償却費	71,033
雑費その他	3,325,111
【変動費計】	39,677,853
【経費計】	81,215,757
【営業利益】	▲8,690,549
【営業外収入】	4,902,661
【営業外費用】	4,090
【経常利益】	▲3,791,978
特別損失	200,000
税引前純利益	▲3,991,978
法人・住民・事業税	184,220
【当期純利益】	▲4,176,198

1. 褥瘡(床ずれ)って

褥瘡(じょくそう)は「床ずれ」とも呼ばれ、寝具や車いすなどと接触する部分の皮膚が圧迫されることで皮膚の血流が悪くなり、皮膚やその下にある組織が死んでしまった状態です。

褥瘡は患部の深さによって治り方が異なります。まず、発生後1~3週間の急性期では、皮膚の赤みや水ぶくれなどができます。

急性期が過ぎて慢性期になると、**浅い褥瘡**か**深い褥瘡**かがわかるようになります。

浅い褥瘡は、赤みや水ぶくれなどの症状がありますが、壊死組織*が少なく、毛根も残っているので、そこから皮膚が再生して比較的短期間で治ります。

一方**深い褥瘡**は、壊死組織を取り除き、そこに新しい肉芽組織*ができて傷が縮むことで治ります。はじめに黒く乾燥した壊死組織ができ、それが取り除かれると、深部には黄色い壊死組織があり、感染しやすく、じゅくじゅくとした状態です。壊死組織が取り除かれると、鮮やかな赤色の新しい肉芽組織が作られます。肉芽組織が皮膚の表面まで盛り上がると、傷が縮み、白い上皮が表面を覆い、傷が閉じて治ります。

*壊死組織…死んでいる組織。肉芽組織…壊死組織に代わって欠損した部分を補填するためにできる新しい組織。

2. 褥瘡はどうしてできるのか

最大の原因は、同じ部分(特に骨が出ている部分)への継続的な圧迫です。それに加え、さまざまな局所的(皮膚)、全身的、社会的な要因が褥瘡の発生に関与しています。

a. 局所的要因

- 自分で姿勢が保持できず、上体を起こすときなどに体がずり落ちて皮膚組織のずれや摩擦が生じ、皮膚が弱くなっている。
- 尿や便が皮膚に常に付着していたり、入浴できなかったり、皮膚が汚染された状態が続いている。
- 皮膚が乾燥し、刺激に弱くなっている。
- 汗や尿、便などにより皮膚が湿っていたりふやけている。

b. 全身的要因

- 食事を十分にとれない状態が続き、栄養状態が悪い。
- 持病(糖尿病、骨粗鬆症、心不全など)がある。
- やせている(皮下脂肪が減少し、骨が出ている)。
- 抗がん剤、ステロイド剤(内服・注射)などの薬剤を使用している。

c. 社会的要因

- 介護力(マンパワー)が不足している。
- サービスや制度などについての情報が不足している。

3. 褥瘡はどのような人にできやすいか

- 日中のほとんどの時間をベッドや車いすで過ごし、自分で寝返りをうったり姿勢を変えることが困難。
 - 食事を十分にとれない状態が続いている。
 - 関節が伸びない状態で固まっている。
 - 寝たきりで尿失禁・便失禁が続いている。
 - 持病が急に悪化している。
 - むくみがある。
- 上記のような人に褥瘡ができやすいです。

4. 褥瘡はどこにできやすいか

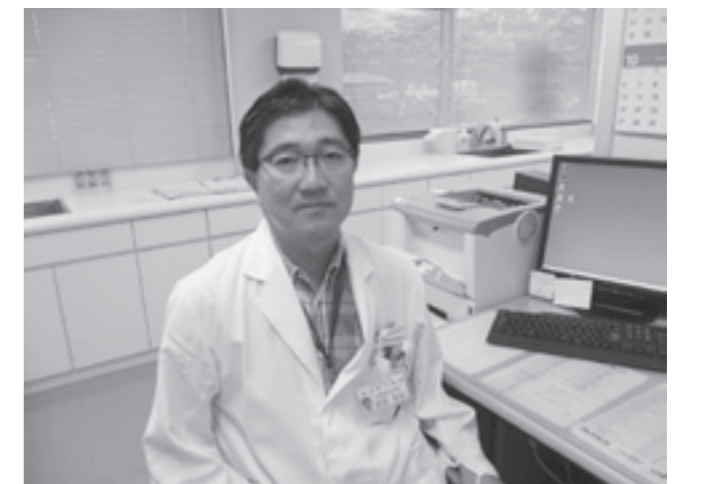
褥瘡ができやすいところは、骨が出ていて、ベッド、車いすなどで圧迫されているところです。

仰向けに寝ている場合は、お尻の中央部にある骨の飛び出した部分(仙骨部)に最も多く、後頭部、肩甲骨部、かかとなどにもできます。**横向き**に寝ている場合には、耳、肩、ひじ、腰骨の飛び出した部分(腸骨部)、太ももの骨が飛び出した部分(大転子部)、ひざ、くるぶしなど、**車いす**に座っている場合には、お尻の骨(坐骨部、尾骨部)、背部、ひじなどにできます。

5. 最後に、褥瘡の早期発見には

褥瘡ができやすい部分を重点的に、毎日皮膚を観察することが重要です。おむつ交換や着替え、入浴のときなどに観察しましょう。

皮膚が赤くなっているのを発見したら、その部分が圧迫されないように体の向きを変えてみます。30分後、皮膚の赤みが消えていれば褥瘡ではありません。赤みが持続している場合は褥瘡の可能性があるので、かかりつけ医、または町立病院の医師や看護師に相談してみましょう。



和木町立病院 診療部長 岩永 祐治